

追手門学院

一貫連携教育研究所紀要

第1号

2015年3月

追手門学院一貫連携教育研究所

ISSN 2189-3551

Bulletin
of
Research Center for Integrated Education System

Vol. 1 March 2015



Research Center for Integrated Education System, OTEMON GAKUIN
1-3-20, Otemae, Chuo-ku, Osaka, JAPAN

追手門学院 一貫連携教育研究所紀要

第1号 (2015年3月)

追手門学院 一貫連携教育研究所紀要の発刊に際して…………… 梅村 修

【一貫連携教育研究所に則した論文・調査報告・実践記録等】

出前授業による一貫連携教育の試み －幼稚園と中学校1年生の場合－……………	東田 充司	1
「働くこと」を教材とした人権教育の試み －高等学校と大学の連携を通して－……………	古川 隆司	10
追手門学院型 AP システムについて……………	梅村 修 藤本 祥之 山本 直子	21
「一貫連携教育の研究」・「教育力向上研究」 一貫連携教育研究所での活動報告 (2014 年度)……………	表 弘之	57
玉川学園・成城学園・成蹊学園訪問 報告書……………	表 弘之	67

【自由論文】

遠隔授業システムを用いた留学生の指導……………	柺尾 真一	77
これから「金利」の話をしよう －義務教育課程における算数・数学分野での金融教育導入について－……………	四塚 朋子	85
CALL 英語学習者に影響を及ぼす要因の特定に向けて －CALL 学習者のコンピュータスキル及び英語力の観点から－……………	岩田 聖子 原田 章	90
日本を学ぶための講義内容の設定 －流通・マーケティングに係わって－……………	松井 温文	101
大学における共通教育のあり方……………	樋口 勝一 梅村 修 下川 邦泰 村上 亨	108
教養と教養教育について……………	武田 裕紀	120
多人数授業におけるグループ学習の試み……………	土肥 眞琴	125
キャリア教育の体系化と PBL の導入……………	吉村 大吾	130

初代学院長 八束周吉先生についての調べ - 資料と現地調査をもとにした「覚え書き」(2014年度) -	藤原 栄一	139
大学教育における実務家と関わり方に関する一考察	田上 正範	149
<hr/>		
2014年度活動記録		155

執筆要項

1. 原稿の構成

- 1) 掲載形態は①特集論文②自由論文の、①②いずれかであること
- 2) タイトルは日本語のみの表記とする（要約は不要）
- 3) 所属名
学校名または学部・学科または所属課・事務室、職名（教員の場合）、執筆者名
- 4) 本文・注・文献（仕上がりはB5判）
400字詰め原稿用紙35枚程度
（1ページ43字×33行=1,419字、表題等のスペース（9行分）も含め、原則として10ページ以内。図表等で10ページを超える場合は事前に相談。）
文中表記について、句読点の仕上がりは「、」「。」とする
注釈の形式は、脚注・文末いずれも可。他に基準は設けない。
参考文献の記載は、文末のみ可。他に基準は設けない。
- 5) 図表、写真の使用について
原則として版下図を提出すること
他からの引用については、必ず執筆者が許諾手続きをとること

2. 連絡先：追手門学院一貫連携教育研究所

- 1) デジタル原稿の場合、電子メール（添付ファイル形式）、CDまたは、FD（フロッピーディスク）
- 2) プリントアウトしたものを1部（A4判）提出する
- 3) CD、FD（フロッピーディスク）は原則として返却しない

3. 原稿の校正

- 1) 原稿の校正は2回までとする
- 2) 校正時の執筆者による大幅な加筆・修正は認めない

4. その他

著作権は追手門学院に帰属し、刊行後本学ホームページ上で公開します

追手門学院一貫連携教育研究所紀要 第1号

2015年3月25日発行

発行者：追手門学院一貫連携教育研究所
〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20
TEL：06-6942-2789

印刷所：協和印刷株式会社
〒615-0052 京都市右京区西院清水町 13
TEL：075-312-4010
